

個人山行

## 越後：阿寺山 &lt;山スキー&gt;

- ◆日程 2019年3月3日(日)
- ◆メンバー L：小林(義)、前田、岡村
- ◆天候 晴れ

山板を取り出す。前回は2015年4月GW(HPの山行の記録 参照)だった。4年ぶりでエッジは錆が浮き道具を揃えるのに苦労、お蔭で腰の「チクッ」とした痛みが出発前に出て来た。12月のゲレンデ敗退と不安を抱えての出発となる。前田号は一路、前泊の南魚沼 道の駅に向かう。道の駅は車が多くビックリ、快適車内で前夜祭、翌日はスキー歩き出し8時とし仮眠する。

広堀橋まで除雪され既に5-6台が駐車してあった。準備し林道を歩き出す。尾根の取り付けから急登が始まる。岡村さん初山行にこの急登は可哀そうだった。でも彼のパワーで頑張っテシール登行、急な登りで段々と六日町の平野が広がり右にも金城山から純白の巻機山、左には八海山と手前の五竜岳と素晴らしい眺望が広がる。途中、3回程の休憩で1250mの平坦地に着く。「時間的にここ迄で」とか理由をつけて山頂は諦める事にした。私の腰が？と心配したのが本音でもある。各自、パワーを体の中に入れ、スキーシールを取り外す。

前田、岡村、小林の順で滑り出す。前田さんは雪質をゴマかしながらも上手に滑っていく。岡村さんもうまくコントロールして滑る。私は全くターンする気分になれず全て横滑りで高度を下げる。とうとうスキーを担いでツボ足下山の始末。途中で前田さん、岡村さんが私の荷物を分担してくれる。林道でスキーを履くがここでも滑る事が出来ずにプルークの無理やり制動で何とか車に戻った。



格好よく滑降準備万端整う！五竜岳が白い

阿寺山山頂は急だが一気の登りで越後三山を始め素晴らしい眺望が得られる、このメンバーならOKだろうと思って選んだ。だが最も問題となったのは私 本人だった。浅草岳か守門岳にすればよかったと反省、でもスキー登行は問題ない点良かった。(記：小林)

(岡村) 先週はアイスクライミング、今週は山スキー。どちらも初めての体験。なんでも初めてやることは不安もあるが楽しい。そういう敷居は低くなるので山の会に入ってよかった。シールを付けて歩くのは滑るはずのスキーが滑らなくなり不思議な感覚。平らなところや直登はいいが、斜面を斜めに横切るように登ると、谷足が横滑りしてしまい難しかった。二人についていくことができない。頂上直下でタイムアウト、撤退することとなり滑走。木々の間をターンできる自信がなく、横滑りが多かったけど、楽しく滑ることができた。さっきまでシールで滑らなかったスキーが、今度は滑りまくるようになり、感覚の切り替えが難しかった。

(前田) まるで春のような陽気で、日中は長そでシャツ1枚で十分な陽気でした。その分雪質はベチャベチャでスキーの楽しみは半減しましたが・・・。今回は時間足らずで頂上こそ行けなかったものの、登り(特に急こう配)でのシール歩行の技術向上、滑走時のルートファインディングの重要性を再認識しながらも楽しめた山行でした。

会の皆様、山スキー隊員、只今大募集中ですよ！！

CT：広堀橋 8:13 - 休 9:45/9:54 - 休 10:42/10:54 - 910m 11:30/11:51

-1100m 12:54 - 1250m 戻る 13:44/14:20 - 林道 15:53/16:00 - 広堀橋 16:15